

# 年頭のあいさつ

「元気なまち川口」の

実現に向けて

市長 奥ノ木 信夫



新年明けましておめでとうござい  
ます。市民の皆様には、平成27年の清々  
しい新春をお健やかに迎えのことと、  
心からお慶びを申し上げます。

昨年2月に市長に就任して以来、私  
は全力で市政運営に取り組んで参りま  
した。その一つが中核市への移行を新  
たな目標としたことです。自らのまち

のことを自ら決められる領域を拡大し  
て、個性を活かし自立した都市を実現  
するため、平成30年4月1日を目標期  
日に中核市移行への準備を始めました。

また、11月に開催した「第二回川  
口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり」に  
は、市内外から15万人もの観客にご来  
場いただき、地域の一体感の醸成、郷  
土愛の育成と地域経済の活性化、そし

て本市のPRに大きな成果を挙げたこ  
ろであります。

さらには、自動車のご当地ナンバー  
「川口」と原付のオリジナルデザイン  
のナンバープレートの交付開始、「川  
口市民ボランティアの日」の制定、通  
常の消防力では対応が困難な災害に備  
え、「川口市高度救助隊」の発足など、幅  
広い事業を展開することができました。

これらはひとえに、市民の皆様のご  
理解・ご協力の賜物と、改めまして心  
から感謝と御礼を申し上げます。

さて、本年も大変厳しい財政状況下  
にあります。中学校教室へのエアコ  
ン設置をはじめ、(仮称)川口市火葬  
施設や新市立高等学校の建設事業など  
に鋭意取り組むほか、「ものづくりの

まち川口」を広く市内外にPRするた  
め「市産品フェア」の開催を予定し、  
川口ブランドの創出に努めるとともに  
市内企業の育成と活性化のため、地場  
産品を積極的に活用して参ります。

また、子育てしやすいまちづくりを  
推進するため、保育所の整備を行い、  
1千211人の大幅な受入枠の拡大を  
図るなど、「元気なまち川口」の実現  
のため、市政運営に全力を尽くして参  
りますので、何卒よろしくお願いを申  
し上げます。

結びに、どうか新しい年が、市民の  
皆様にとりまして、明るく希望あふれ  
る飛躍の年となりますよう、心から祈  
念申し上げ、年頭のあいさつといたし  
ます。

魅力と活力に溢れた

「わがまち川口」の実現に向けて

議長 大関 修克



新年あけましておめでとうございま

す。市民の皆様には、希望に満ちた初春  
をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、台風や豪雨による土砂災害、  
御嶽山の噴火などの自然災害により、  
各地で甚大な被害に見舞われました。  
改めて早急な防災対策の重要性を認識  
した次第であります。

一方で、青色発光ダイオードの発明  
により、3人の科学者がノーベル物理  
学賞を同時受賞されるなど、国際舞台  
で日本人が活躍した年でもありました。

さて、本市議会の活動を顧みますと、  
6月市議会定例会において、本年4月  
に実施予定の統一地方選挙から、議員  
定数を現行の45人から3人減員して42  
人とする条例改正を行いました。

また、議会改革推進委員会を鋭意開

催し、議会改革に関わる様々な項目に  
ついて、市民の皆様にとりて、よりわ  
かりやすい議会運営を目指すべく、検  
討を重ねてきたところであります。さ  
らには、公平公正な議会運営に努めた  
一年でもありました。

一般質問においては、延べ57人の議  
員が登壇し、災害対策に関するものを  
始め、教育・子育て支援、産業振興、  
都市基盤整備に関する質問など、多角  
的な視点から、多くの質問及び提言を  
行うとともに、地方税財源の充実確保、  
各種福祉施策の拡充、教育環境の充実  
など多方面にわたる多くの意見書を内  
閣総理大臣を始め、関係大臣あてに送  
付するといった成果を挙げることで

きました。

新年を迎えるにあたり、私も市議  
会といたしましては、なお一層、市民  
の皆様への期待と信頼に応えるため、議  
員一人ひとりが、その責務を自覚し、  
積極的な議会活動を展開し、魅力と活  
気に溢れた、「わがまち川口」の実現  
に向けて誠心誠意取り組んで参ります。

今年の干支は「ひつじ」ですが、  
「羊の蹄は黄金の蹄」という言葉があ  
ります。羊が歩んだ大地が豊かになる  
ように、豊かな川口市を目指して議員  
一同歩んで参る所存です。

結びに、本年が市民の皆様にとりま  
して、幸せで実り多い年となりますこ  
とを心から祈念申し上げ、新年のあい  
さつといたします。